

平成 28 年 12 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社オプトエレクトロニクス
 代表者名 代表取締役社長 俵 政 美
 (J A S D A Q ・ コード 6 6 6 4)
 問合せ先 取締役会長 志村 則彰
 電 話 0 4 8 - 4 4 6 - 1 1 8 1

平成 28 年 11 月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 12 月 24 日に公表いたしました平成 28 年 11 月期通期（平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日）の連結業績予想値につきまして、実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の差異について

連結累計期間（平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前予想 (A)	8,400	630	600	450	円 銭 72 84
実績値 (B)	7,147	515	457	297	48 21
増減額 (B - A)	▲1,253	▲115	▲143	▲152	
増 減 率	▲14.9%	▲18.2%	▲23.8%	▲33.8%	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 11 月期)	8,129	566	530	511	79 07

2. 差異の理由

売上につきましては、平成 28 年 11 月期上期に予定しておりました二次元モジュールを中心とする新製品の生産立ち上げが遅れ、一次元製品から二次元製品への切り替えが後ろ倒しになったことと、急激な円高が進行し、海外売上上の換算額が減少したためであります。41 期期首事業計画為替相場 1 ドル=120 円、1 ユーロ=130 円に対し、通期平均為替相場は 1 ドル=111.99 円、1 ユーロ=123.72 円となりました。

利益につきましては、海外は売上が減少したものの、為替の影響を受けにくいドル出荷体制が功を奏し、利益を確保することができました。一方国内は、売上が減少したことと、新製品の開発にかかわる経費が膨らんだため、利益が減少となりました。

以 上